

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	設計製図 1	
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習		
教科書/教材	建築製図 基本の基本 学芸出版社、第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善				
担当教員情報					
担当教員	櫻井良明、天野奈緒、渋谷浩夫、大嶋真粧美、荒井良之	実務経験の有無・職種	有・建築設計		
学習目的					
設計製図の「設計」と「製図」はそれぞれ、「考える作業」と「伝える作業」である。建築を考え、伝える手段として図面が使用される。図面は建築にとって「言語」となり、「情報手段」となる。建築を学び、考え、創造するためには、その基となる図面をルールに則って正確に表現し、正しく読み取り、作図できるようになることが不可欠である。設計製図1では、木造建築図面の表現方法や作図方法および設計力の基礎・基本の習得を学習目的とする。					
到達目標					
次の3点を到達目標とする。 ①製図記号や、図面作成方法を習得する。【作図スキル】 ②作図しながら図面同士の整合性を習得する。【図面理解スキル】 ③木造平家建住宅、小規模な空間について、スケール感覚を意識しながら設計できる。【スケール把握、空間設計スキル】					
教育方法等					
授業概要	1本1本の線の意味をしっかりと理解し、木造建築図面の作図方法の基礎・基本を身につける。特に、屋根の形状をしっかりと理解し、平面図から屋根伏図を考え、断面・立面図が描ける力を身につけ、模型で表現までできるようにする。				
注意点	設計は広範にわたる建築分野の基礎をなす科目の一つである。授業時間中の指導、講義、作業に加えて、それ以外の時間での思考、検討、作業など個々の目的に合わせて効果的に配分し取り組むこと。授業には集中して取り組み、課題提出期限を守ること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	90%	課題作品を総合的に評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション	製図道具の使い方を理解する。線の練習より作図の基本を理解し作図できる。			
2回	写図 木造平家建住宅 平面図①	木造平家建住宅の平面図（S=1/50）の作図手順を理解し作図できる。			
3回	写図 木造平家建住宅 平面図②	木造平家建住宅の平面図（S=1/50）の詳細な作図方法を理解し作図できる。			
4回	写図 木造平家建住宅 断面図	木造平家建住宅の断面図（S=1/50）の作図手順および詳細な作図方法を理解し作図できる。			
5回	写図 木造平家建住宅 立面図	木造平家建住宅の立面図（S=1/50）の作図手順および詳細な作図方法を理解し作図できる。			
6回	写図 木造平家建住宅 矩計図	木造平家建住宅の矩計図（S=1/20）の作図手順および詳細な作図方法を理解し作図できる。			
7回	写図 木造2階建住宅	木造2階建住宅の平面図、断面図、立面図（S=1/100）の作図方法を理解し作図できる。			
8回	エスキースの練習	決まった平面図より屋根伏図、断面図、立面図を設計、作図方法を理解し作図できる。			
9回	設計 木造平家住宅①	木造平家住宅の設計課題のエスキースの手順を理解し作図できる。			
10回	設計 木造平家住宅②	木造平家住宅の設計課題のエスキースの方法を理解し作図できる。			
11回	設計 木造平家住宅③	木造平家住宅の設計課題のエスキースの改善方法を理解し作図できる。			
12回	設計 木造平家住宅④	木造平家住宅の設計課題のエスキースから作図する方法を理解し作図できる。			
13回	設計 木造平家住宅⑤	木造平家住宅の設計課題の平面図の作図方法を理解し作図できる。			
14回	設計 木造平家住宅⑥	木造平家住宅の設計課題の断面図・立面図及び模型制作方法を理解し作図・作成できる。			
15回	設計 木造平家住宅⑦	木造平家住宅の設計課題のプレゼンテーション方法を理解する。			